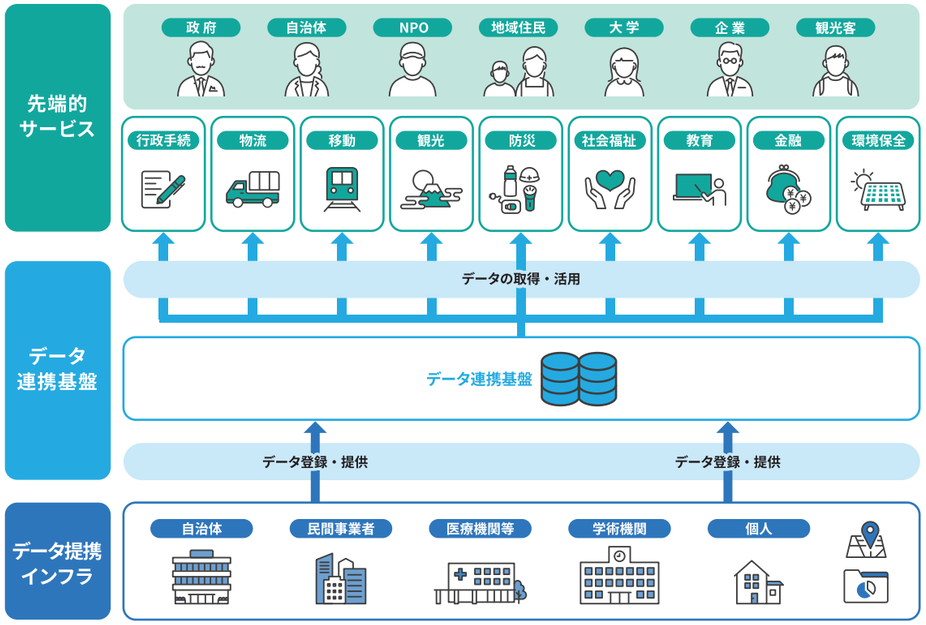
「データ連携基盤」って？

データ連携基盤は、自治体、企業、医療機関など様々な主体から提供されるデータを
一元的に収集・整理し、新たなサービスで活用できるよう提供するための基盤です。
国においても、安全・安心のもと様々なデータやサービスが相互に連携し、新たなサービス創出につながるよう、
安全性の確保や、取り扱うデータの正確性の確保などについて、積極的に支援しています。



スーパーシティ・デジタル田園健康特区の取組に、住民の皆様、事業者の皆様も参加しませんか？

スーパーシティ、デジタル田園健康特区について、もっと知りたい方は、
国家戦略特区のWebサイトへ
https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/openlabo/supercitycontents.html

SNSでも情報発信中

国家戦略特区 Facebook
https://www.facebook.com/kokusentoc/

地方創生 Facebook
https://ja-jp.facebook.com/Chihousousei.kouhou/

地方創生 X（Twitter）
https://twitter.com/kouhou_sousei

（令和6年9月作成）

内閣府

スーパーシティ
デジタル田園健康特区

デジタルの力を活用した地方創生で
「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すデジタル田園都市国家構想。

そのモデルとなるのが、**国家戦略特区**の一つである
スーパーシティ（スーパーシティ型国家戦略特区）、**デジタル田園健康特区**です。

国家戦略特区

国家戦略特区は、地域を限定し、
大胆な規制・制度の改革や
税制の優遇を行う制度です。
スーパーシティ、デジタル田園健康特区を含め、
全国で16区域が指定されています。

住民が参画し、住民目線で、未来社会の先行実現を目指す

スーパーシティ

移動・物流・健康・医療・まちづくり・行政手続など、暮らしにかかわる幅広い分野にまたがって、
先端技術を活用した新たなサービスの提供に取り組んでいます。
サービスの実現に向けて、様々なデータを連携・共有するための「データ連携基盤」の整備や規制改革が進められています。

つくばスーパーサイエンスシティ構想

科学で新たな選択肢を、人々に多様な幸せを

日本最大の科学技術都市であるつくば市は、社会全体が一人ひとりを包み込み、支え合う「誰一人取り残さない」SDGsの精神の下で、世界最高峰の科学技術を結集し、デジタル、ロボティクス等の最先端技術の社会実装と都市機能の最適化を進めています。

住民参加を基盤とし、住民と住民、住民と行政のつながりを深化しつつ、出口の見えない社会課題の克服や革新的な暮らしやすさを実現する住民中心のスーパーシティを目指しています。

移動・物流

- パーソナルモビリティ・ロボットの本格導入
- ロボット・ドローンによる荷物の自動配送

防災・インフラ・防犯

- 災害時要支援者の迅速な避難誘導と医療連携

行政

- インターネット投票
- 外国人向け多言語ポータルアプリ

デジタルツイン・まちづくり

- 先駆的な3Dデジタル基盤の構築とサービス提供

医療

- マイナンバーなどを活用したデータ連携による健康・医療サービス

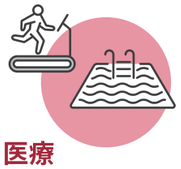
スーパーシティ（茨城県つくば市）の紹介動画を公開中！

大阪スーパーシティ構想

～データで拡げる“健康といのち”～

大阪のスーパーシティでは、夢洲とうめきた2期の2つのグリーンフィールドにおいて、**3つのプロジェクト（夢洲コンストラクション、大阪・関西万博、うめきた2期）**を展開。

ヘルスケアとモビリティの分野を中心に、様々な先端的サービスの実装に取り組むことで、「住民QOLの向上」と「都市競争力の強化」を目指しています。



健康・医療

- ヒューマンデータとAI分析などによる健康増進プログラムの提供
- 外国人を含むすべての人が最先端の医療サービスを受けることができる社会の実現
- 健康・医療・介護・スポーツなど多岐に渡るデータをつなぐことで、医療・健康サービスの高度化や個々人にとって最適なサービスの選択・利用ができる環境の整備

移動・物流

- 日本初の空飛ぶクルマの社会実装
- 万博における、バスの自動運転（レベル4相当）の実施
- データ連携基盤を活用した渋滞・混雑予測状況の提供や最適なルート案内等、MaaSによる移動の円滑化の実現

まちづくり

- 万博等工事の円滑化と安全管理のためのドローン活用（資材運搬・測量・工事管理・現場見守り等）
- 健康増進サービス、リアルとデジタルの融合空間の創造などによる、未来の公園の実現
- AI技術・観測データ等を活用した、局所的な気象予報サービスの提供

スーパーシティ（大阪府・大阪市）の紹介動画を公開中！

デジタル田園健康特区

加賀市 ・ 茅野市 ・ 吉備中央町

全国的に人口減少・少子高齢化が進む中、地理的に離れた3つの自治体が広域的に連携しつつ、
大学や医療機関、関連事業者等との強い連携のもと、規制改革とデジタル技術の活用により、
健康・医療分野を中心に地域の課題解決を進めています。

健康医療情報の活用

医療版「情報銀行」を構築し、個人の様々な健康・医療データを連携することで、一人ひとりにあった健康増進サービスの提供を実現（運動指導、生活習慣の改善など）

移動・物流サービス

タクシー等の地域交通との連携により、薬局によらずに自宅でタイムリーに医薬品を受け取ることができるサービスを実現

医療関係者同士の連携・補完

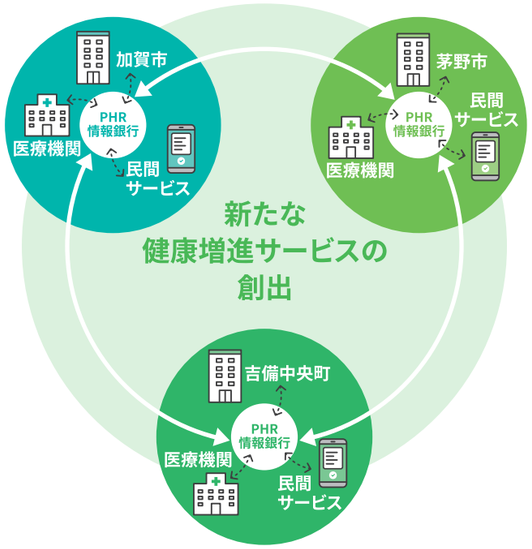
搬送中の救急車内で救急救命士がエコー検査を行うことで、病院到着後の迅速な処置を実現

デジタル田園健康特区の紹介動画を公開中！

健康医療情報の自治体を超えたデータ連携

病院や診療所、自治体、民間サービス等がそれぞれ保有する健康医療情報（電子カルテ情報、検診情報、アクティビティ情報等）を標準化し、組み合わせて活用するための実証を行っています。

デジタル田園健康特区の3自治体が連携し、多くのデータを集めることにより、より精度の高い健康増進サービスの提供などが可能となります。



※PHR（personal health record）サービスとは、個人の健康医療データを活用した個人向け健康サービス。